



郵便料金計器 K700™



SV61374 改訂版 F 05/06

©2006 Pitney Bowes Inc. All rights reserved.

本書の内容の一部または全部をピツニーボウズの承諾なしに複製、あらゆる形式でのシステムへの保存を禁止します。

本製品の有用性および正確性を期するように最大限の努力を払っていますが、本製品の誤使用などから生じた損害については責任を負いません。

製品のバージョンアップを随時行っているため、マシンおよび材質、仕様書、パフォーマンス機能は、予告なしに変更されることがあります。

ENERGY STAR[®]は、米国環境保護庁の登録商標です。

目次

第1章 はじめに 1-1

郵便料金計器K700™について	1-2
IntelliLink™について	1-3
製品の仕様	1-4
マシンの設定	1-5
安全にお使いいただくために	1-5
電話回線に関する安全上の注意	1-7

第2章 各部の名称と機能 2-1

各部の名称：前面	2-2
各部の名称：操作パネル	2-3
各部の名称：背面	2-5

第3章 郵便物の処理 3-1

郵便物を処理する前に	3-2
郵便料金の算出	3-3
印影の印字	3-4
郵便料金を直接入力する	3-4
電子スケールを使用する	3-5
重量表示延長モード	3-6
重量を手入力する	3-6

第4章 印字オプション

4-1

印字オプション	4-2
印影の自動日付更新機能	4-2
印影の日付を手動で変更する	4-2
印影の日付を元に戻す	4-3
広告を印影と一緒に印字する/印字しない	4-4
広告を追加購入する	4-4
日時だけを印字する(印影なし)	4-5
広告だけを印字する(印影なし)	4-6

第5章 残額補充とデータセンターへの接続

5-1

マシンの金額情報	5-2
画面上で残額を確認する	5-2
メーターレポートを印刷する	5-2
マシンをアナログ電話回線に接続する	5-3
残額を補充する	5-4
データセンターに接続する	5-5
ダウンロード機能	5-5
マシンの点検	5-6
郵便料金表の更新	5-7

マシンの時刻を変更する	6-2
画面のコントラストを設定する	6-3
プリセット機能を使用する	6-4
プリセットを設定する	6-5
プリセット機能のオン/オフ	6-6
プリセットを参照する	6-7
プリセットを呼び出す	6-7
小計金額/通数を表示、印刷、クリアする	6-8
小計金額/通数を表示する	6-8
小計金額/通数を印刷する	6-9
小計金額/通数をクリアする	6-10
ロック機能を使う	6-11
ロックコードを設定する	6-11
スリープモードの起動時間を設定する	6-13
手動でスリープモードにする	6-14
電子スケールを設定する	6-14
電子スケールをゼロにリセットする	6-14
重量表示延長モードのオン/オフ	6-15
高額料金警告額を設定する	6-16
低残額警告額を設定する	6-17
外線発信番号を入力する	6-18
ダイヤル方式(トーンまたはパルス)を選択する	6-19
画面に表示される言語を変更する	6-20

第7章 インクのメンテナンス (プリンター機能) 7-1

インク残量の警告	7-2
インクカートリッジの交換	7-3
テストパターンの印刷	7-6
プリンタノズルのクリーニング	7-7
プリントヘッドの交換	7-8
インクトレイの交換	7-10

第8章 レポート 8-1

レポート	8-2
メーターレポート	8-2
リセット履歴レポート	8-3
部門集計レポート	8-4
ソフトウェアバージョンレポート	8-5
ソフトウェアのバージョン情報の参照	8-6

第9章 部門集計機能 9-1

部門集計機能	9-2
部門集計機能のオン/オフ	9-2
部門を作成する	9-3
部門を選択/変更する	9-4
部門内容を編集する	9-5
部門集計内容を表示する	9-6
部門集計レポートを印刷する	9-7
部門の集計内容をクリアする	9-8
部門を削除する	9-9

第10章 トラブルシューティング 10-1

お問い合わせの前に	10-2
エラーメッセージ	10-2
画面に何も表示されない	10-3
印刷が不鮮明である	10-4
画面の文字が読みにくい	10-4
データセンターに接続できない	10-4

第11章 消耗品 (サプライ) とオプション 11-1

消耗品 (サプライ)	11-2
オプション	11-2

付録A テキストについて A-1

テキスト入力が必要な場合	A-1
テキストの入力方法	A-1
部門名	A-2
特殊文字	A-2

付録B 用語集 B-1

1

第1章 はじめに

ここではK700™の主な機能と、安全にお使いいただくための重要な情報を記載しています。K700™をご利用になる前に必ずお読みください。

郵便料金計器K700™について……	1-2
IntelliLink™について ……………	1-3
製品の仕様 ……………	1-4
マシンの設定 ……………	1-5
安全にお使いいただくために ……………	1-5
電話回線に関する安全上の注意 ……………	1-7

郵便料金計器K700™について

デジタル式郵便料金計器K700™(以下「マシン」といいます)には、以下の特長があります。

- コンパクトな省スペース設計
- Energy Star®準拠の設計により、コストを削減するとともに環境を保護
- システムの状態や操作内容を見やすく画面に表示
- オートデート(自動日付更新)機能
- 簡単なボタン操作で選べる広告
- 内蔵モデムを使い残額を簡単に補充(アナログ電話回線が必要)
- インクジェットプリントによる鮮明な印影
- 郵便物を計量する電子スケール
- 郵便種別と重量から郵便料金を自動算出
- 受け取った郵便物や重要書類に日時を印刷
- 部門集計機能により郵便経費を部門別に集計
- パスワードにより不正使用を防止
- 処理した郵便物の記録を印刷
- USBポート(将来的な機能)

IntelliLink™について

このマシンは、IntelliLink™システムを利用していろいろな情報を直接ダウンロードできます。IntelliLink™テクノロジーを利用して、以下のことができます。

内蔵モデムを利用した残額補充

マシンをアナログ電話回線に接続することにより、ピツニーボウズCMRSデータセンターを通じて残額を自動的に補充できます。

最新の郵便料金表のダウンロード

郵便料金の改定があった場合、必要に応じて最新の郵便料金表をダウンロードできます(オプション)。

追加機能のダウンロード

広告やその他の拡張機能をダウンロードできます(オプション)。

マシンを常に最新の状態に保つ

ソフトウェアのダウンロード機能により、マシンのオペレーティングシステムを常に最新の状態に保ちます。

製品の仕様

【本体】

基本モデルサイズ：高さ213mm×幅351mm×奥行き264mm

電子スケール装着時のサイズ：高さ231mm×幅351mm×奥行き264mm

重量：3.6kg(電子スケールなし)、4.0kg(電子スケール装着時)

電源仕様：100V、50/60Hz、1.0A

通信ポート：USBポート1個、シリアルポート1個

動作温度：14°Cから35°C

液晶ディスプレイ：2行×20文字

処理スピード：最高18通/分

実際の処理スピードは、郵便物の種類、広告の有無などによって変わります。

印刷の解像度：300×300dpi

最大印刷領域：23mm×110mm

インクカートリッジの寿命：マシンの使用頻度、広告印刷の有無、環境条件などによって異なります。おおそ800～1,400通(約4～6か月)使用できます。

プリントラベル：シートタイプ4面ラベル

広告：最大15個

部門集計機能：最大10部門

電子スケール秤量：1.0kg

マシンの設定

最高印字金額: ¥99,999

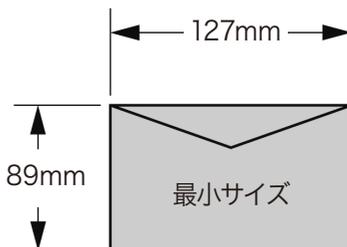
リセットタイプ: モデムリセット方式

郵便物の仕様 (図を参照してください)

最小サイズ: 127mm×89mm

厚さ(最小): 0.18mm

厚さ(最大): 8.0mm



重要 処理する郵便物が、この仕様に合っていることを確認してください。

安全にお使いいただくために

マシンを安全にお使いいただくために、次の注意をお守りください。

- インクカートリッジやプリントラベル等の消耗品は弊社が指定した純正品を使用してください。
- エアゾールダスターの使用にはご注意ください。不適切に保管または使用したり、可燃性のものを使用すると爆発する危険性もあり、けがやマシン損傷の原因になります。可燃性エアゾールダスターは使用しないでください。また、エアゾールダスターを使用する場合は、ラベルに記載されている使用上の注意を守ってください。
- マシンを使用する前に注意事項を最後までお読みください。この取扱説明書は必要となしにいつでも参照できるように保管してください。
- 電源ケーブルは、必ず本製品に付属しているケーブルを使用し、マシンの近くにあるアース付きコンセントに接続してください。接続が不適切な場合、けがや火災の原因になることがあります。

- このマシンには電源スイッチがありません。電源を切るにはコンセントから電源コードを抜きます。電源ケーブルがコンセントに差し込んであるときは常に電源が入っていますが、スリープモードの設定により一定時間マシンを使用しないと省電力モードになります。
- 電源コンセントは、スイッチ式コンセントや他の装置と併用するコンセントを使用しないでください。
- アダプタプラグや延長コードを使用しないでください。
- アース用ピンは電源コードから取り外さないでください。
- コンセントの周囲には物を置かないでください。
- 電源コードは、先端の尖った机やオフィス家具には触れないようにしてください。また机などの間に通したり、上に重い物を乗せないでください。
- 火災や感電などの恐れがありますので、操作パネルの蓋を開けたり、基盤を分解したりしないでください。マシン内部には触れると危険な部品も入っています。マシンを落としたり傷つけたりした場合は、弊社または販売店にご連絡ください。
- 指、長髪、貴金属類、袖口が広い上着などは、装置の駆動部分に近づけないでください。
- 動作中は駆動部に手を触れないでください。紙詰まりを直すときは、マシンが完全に停止するまで待ってください。
- メーリングマシン本来の目的だけに使用してください。
- 職場における業務上の安全対策と衛生管理基準に従ってください。
- 火のついた口ウソク、タバコなどの火気はマシンに近づけないでください。
- マシン内部が熱くなる恐れがあるため、通気孔は塞がないでください。



いつも安全にご利用いただくために、保守契約へのご加入をお勧めします。

電話回線に関する安全上の注意

このマシンはアナログ電話回線に直接接続します。本製品を安全にご使用いただき、火災、感電や怪我などを未然に防ぐために、次の基本的な注意をお守りください。

- 雷が発生しているときは、電話回線を接続しないでください。
- 雷が発生しているときは、マシンから電話回線を外してください。
- 感電の恐れがあるため、雷が発生しているときは電話回線に接続した電話やマシンを使用しないでください。
- 付近でガス漏れが発生している場合は、電話回線に接続した電話やマシンを使用しないでください。
- 湿気の多い場所、水気のある場所やその近くではマシンを使用しないでください。
- 保護されていない電話回線や端末には、電話回線をネットワークから切断するまで手を触れないでください。



必ず製品付属の電話線をご使用ください。

2

第2章

各部の名称と機能

ここでは、各部の名称と機能について説明しています。

各部の名称：前面 2-2

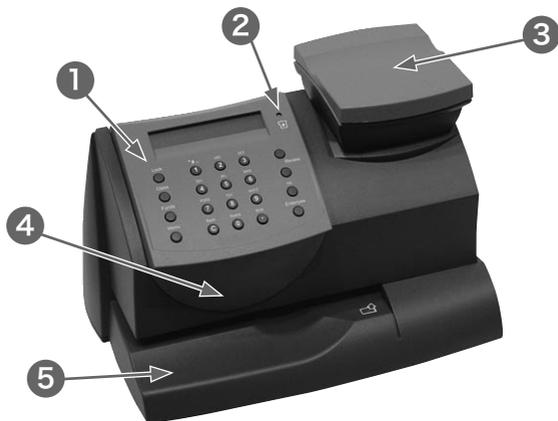
各部の名称：操作パネル 2-3

各部の名称：背面 2-5

各部の名称：前面

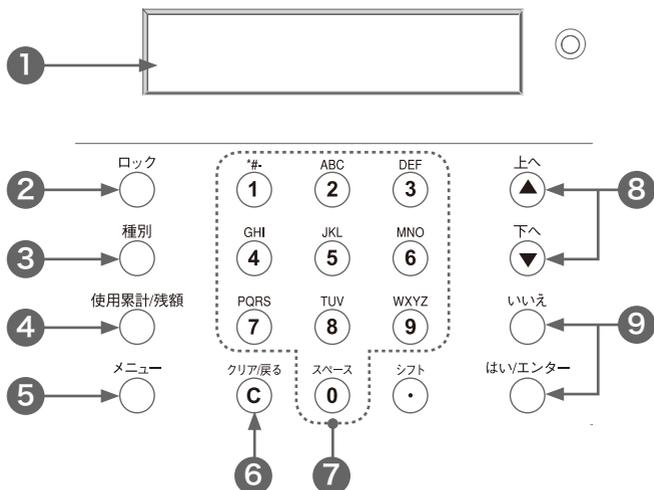
2

各部の名称と機能



- 1 操作パネル**：テキスト(数字とアルファベット)入力と各種設定に使用します。
- 2 LEDランプ**：インクが少なくなるとオレンジ色に点灯し、インクがなくなると点滅します。
- 3 電子スケール**：郵便物を計量します。電子スケールをマシンに接続する時はマシン上部の所定位置に乗せ、ケーブルをマシンのシリアルポートに接続してください。別売の延長ケーブルを使うと、マシンから離して使用できます。
- 4 トップカバー**：インクカートリッジやプリントヘッドを交換するとき開けます。詳細については「第7章 インクのメンテナンス」を参照してください。
- 5 メールデッキ**：印影を印字する際に封筒やはがき、プリントラベルを手前から奥に差し込みます。

各部の名称：操作パネル



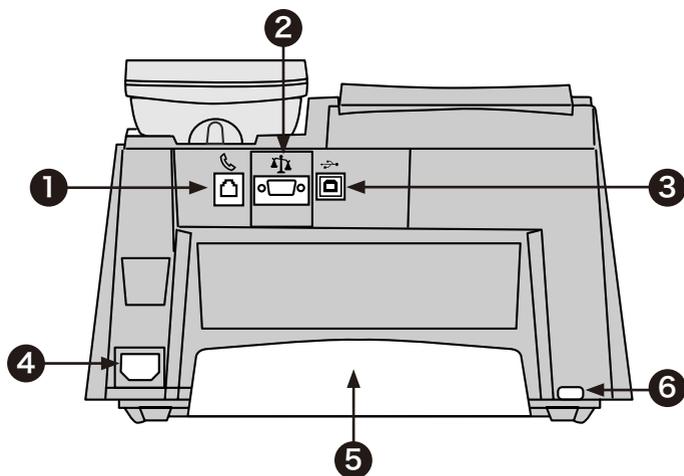
2

各部の名称と機能

- 1 液晶ディスプレイ**：オペレーションの状態を示します。設定や操作はすべてこの画面に表示されます。
- 2 【ロック】キー**：ロック機能を設定した場合にマシンの不正使用を防止します。マシンを起動するには4桁のパスワードを入力します。
- 3 【種別】キー**：種別を選択すると、その種別に応じた郵便料金を算出します。
- 4 【使用累計/残額】キー**：マシンの残額や使用累計額などを確認したり、残額を補充する時に使用します。詳細については、「第5章 残額補充とデータセンターへの接続」を参照してください。
- 5 【メニュー】キー**：各種設定オプションを選択します。詳細については、「第6章 マシンの設定」を参照してください。

- 6 【クリア/戻る】キー**：入力した文字/数字を削除します。また、前の画面やメニューに戻る時に使います。
- 7 英数字キー**：数字やアルファベットを入力します。部門名や郵便料金などの情報を入力するときに使います。詳細については「付録A テキストの入力方法」を参照してください。
- 8 【上へ/下へ】キー**：画面をスクロールしてメニューを選択したり、現在の設定を参照します。
- 9 【はい/エンター】キーと【いいえ】キー**：操作を確認するとき、「はい」(実行する)または「いいえ」(実行しない)で指示します。【はい/エンター】キーは郵便料金や部門名などを入力する際にはエンターキーとして使用します。

各部の名称：背面



- 1 モジュージャック**：アナログ電話回線を接続します（FAX回線を推奨）。アナログ電話回線に接続したあと【使用累計/残額】キーを押して、画面の指示に従うだけで残額を補充できます。詳細については、「第5章 残額補充とデータセンターへの接続」を参照してください。
- 2 シリアルポート**：電子スケールを接続して郵便物を計量します。
- 3 USBポート**：将来的な機能です。
- 4 コンセント**：製品付属の専用ACケーブルを接続します。
- 5 インクトレイ**：廃液タンクです。詳細については、「第7章 インクのメンテナンス」を参照してください。
- 6 インクトレイレバー**：インクトレイを取り外すときに使います。

3

第3章 郵便物の処理

ここでは、郵便物に印影をプリントする時の基本操作について説明しています。

郵便物を処理する前に	3-2
郵便料金の算出	3-3
印影の印字	3-4
郵便料金を直接入力する	3-4
電子スケールを使用する	3-5
重量表示延長モード	3-6
重量を手入力する	3-6

郵便物を処理する前に

マシンで郵便物を処理する前に、次の準備ができていることを確認してください。

- 電子スケールが本体に接続されていることを確認してください。接続されている時は、ディスプレイの右上に重さ(スケールに何も乗せていない時は0g)が表示されています。
- コンセント(100V)が適切に接続されていることを確認してください。「第1章 はじめに」に記載されている安全上の注意を必ず守ってください。
- 残額が十分に残っているか確認してください。残額を表示するには、【使用累計/残額】キーを押します(メイン画面に戻るには【クリア/戻る】キーを押します)。
- インクが少なくなっている、または大量の郵便物を処理する場合は予備のインクカートリッジがあるか確認してください。インクカートリッジの注文方法については「第11章 消耗品とオプション」を参照してください。
- 厚手の郵便物や小包はマシンで直接印字できないため、プリントラベル(別売)を使用します。プリントラベルについては「第11章 消耗品とオプション」を参照してください。プリントラベルは通常の郵便物と同じようにマシンで印字し、郵便物や小包に貼付してください。

郵便料金の算出

郵便物の料金は、日本郵政公社の規則に基づいて次の項目によって決まります。電子スケールを使用すると、郵便物の重量や種別に基づいて郵便料金が自動的に算出され、処理が簡単になります。

- 郵便物の種別
- 重量
- 特殊取扱の有無



郵便料金を手動で計算する場合は、最寄りの郵便局で最新の郵便料金表を入手してください。

電子スケールを使用する

電子スケールを使用する場合にこの方法を使います。1. 2. の手順を逆にしても料金は算出されます。

- 1 郵便物を電子スケールに乗せると、郵便物の重量が画面に表示されます。
- 2 【種別】キーを押し、次に【上へ/下へ】キーを使って種別を選択し【はい/エンター】キーを押します。
- 3 特殊取扱いの選択画面が表示されます。【上へ/下へ】キーでスクロールするとひとつずつ表示されるので、必要であれば【はい/エンター】キーで確定し、必要なければ「0. ナシ」の画面で【はい/エンター】キーを押します。算出された郵便料金が画面に表示されます。
- 4 郵便物をメールデッキの奥まで差し込みます。郵便物がメールデッキに入らない場合は、プリントラベルに印字します。印影の印字が完了すると、郵便物を取り出すようにメッセージが表示されます。

重量表示延長モード

重量表示延長モードを使用すると、郵便物を電子スケールから下ろした後でも料金を算出できます。このモードは、画面が郵便物で隠れてしまう時などに使用します。なお起動方法については「第6章マシンの設定」を参照してください。

このモードを使用した場合、

- 重量がメモリに保存されると、画面に“WH”と表示されます。
- 重量は郵便物を電子スケールから取り除いた後、10秒間表示されます。
- 10秒経過する前に【はい/エンター】キーを押すと、さらに10秒間表示が延長されます。
- 10秒経過する前に【クリア/戻る】キーを押すと重量表示がクリアされます。

重量を手入力する

この方法は、次の場合に使用します。

- 郵便物の重量がわかっていて、電子スケールを使用する必要がない場合
- 郵便物の重量が、電子スケールの秤量(1.0kg)を超える場合

- 1 種別を設定します。
- 2 特殊取扱いの選択画面が表示されます。【上へ/下へ】キーでスクロールするとひとつずつ表示されるので、必要であれば【はい/エンター】キーで確定し、必要なければ「0. ナシ」の画面で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【メニュー】キーを押します。
- 4 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ジュウリョウニューリョクモード ッカイマスカ?」を選択して【はい/エンター】キーを押します。

- 5 「ジュウリョウヲ ニュウリョク」と表示されるので、重量をグラム単位で入力し【はい/エンター】キーを押すと算出された郵便料金が画面に表示されます。
- 6 郵便物をメールデッキの奥まで差し込みます。郵便物がメールデッキに入らない場合は、プリントラベルに印字します。印影の印字が完了すると、郵便物を取り出すようにメッセージが表示されます。

4

第4章 印字オプション

ここでは、印影や広告などを印字する際の機能について説明しています。

印字オプション	4-2
印影の自動日付更新機能	4-2
印影の日付を手動で変更する	4-2
印影の日付を元に戻す	4-3
広告を印影と一緒に印字する/印字しない ...	4-4
広告を追加購入する	4-4
日時だけを印字する(印影なし)	4-5
広告だけを印字する(印影なし)	4-6

印字オプション

このマシンで郵便物を処理する場合、複数の印字オプションを設定できます。詳細については下の表を参照してください。

印字オプション	発送する郵便物に使用	受け取った郵便物に使用
通常の印影を印字する	○	
印影に広告を追加する	○	
日時だけを印字する(印影なし)		○
広告だけを印字する(印影なし)		○

印影の自動日付更新機能

このマシンは午前0時になると印影の日付を自動的に更新します。

印影の日付を手動で変更する

郵便物を翌日以降に発送する場合など、印影の日付を変更できます。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ヒツケ/ジコクヲ ヘンコウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「インジスル ヒツケヲ ヘンコウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。

- 4 【上へ】キーを押すと日付が1日ずつ進みます。印字する日付を選択して【はい/エンター】キーを押します。「ヒツケヲ セツテイ」のメッセージが表示された後、メイン画面に戻ります。



日付を変更する場合は次の点に注意してください。

印影の日付を変更しても、マシン本体が保持する日付は変更されません。

変更した日付は、印字した後は現在の日付に戻してください。

印字する日付はマシン本体が保持する日付以前には変更できないため、現在の日付より前の日付は印字できません。

印影の日付を元に戻す

下記の手順以外にも、一旦スリープモードに入ると元の日付に戻ります。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ヒツケ/ジコクヲ ヘンコウシ マスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「インジスル ヒツケヲ ヘンコウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 「キョウノヒツケニ モドシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 5 「インジ ヒツケ:」で現在の日付が表示されるので【はい/エンター】キーを押します。「ヒツケヲ セツテイ」のメッセージが表示された後、メイン画面に戻ります。

広告を印影と一緒に印字する/印字しない

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「コウコクヲ ヘンコウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。保存されている広告があればひとつずつ表示されます。

広告を印字する 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし、印字する広告で【はい/エンター】キーを押します。選択した広告を確認するメッセージが表示された後、メイン画面に戻ります。

広告を印字しない 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ナシ」で【はい/エンター】キーを押します。確認メッセージが表示された後、メイン画面に戻ります。

広告を追加購入する

広告を追加する場合は、弊社または販売店にご連絡ください。広告には『書留』『配達記録』『謹賀新年』などの既製品以外にも、オリジナル広告の作成も承ります。購入した広告はIntelliLink™を通じてマシンにダウンロードできます。

日時だけを印字する(印影なし)

受け取った郵便物や書類などに日時だけを印字することができます。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「インジスル ナイヨウヲ ヘンコウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし、「ヒツケト ジコクノミ インジシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 画面に日時と「ヒツケト ジコクノミ インジ」と表示されたら、封筒をメールアドレスの奥まで差し込みます。



RECEIVED



- 5 日時だけの印字を終了して元に戻るには【クリア/戻る】キーを押します。「インエイノ インジニ モドリマスカ?(ハイ/イイエ)」で【はい/エンター】キーを押すとメイン画面に戻ります。

広告だけを印字する(印影なし)

この機能は、郵便物に広告だけを印字する時に使います。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「インジスル ナイヨウヲ ヘンコウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「コウコクノミ インジシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。4-4で広告が設定されている場合はそれが表示されます。設定していない場合は「コウコクガ セツテイサレテイマセン ハイ/エンターヲ オシテクダサイ」と表示され、【はい/エンター】キーを押すと広告選択画面になります。
- 4 広告名は一つずつ表示されます。【上へ/下へ】キーで広告を選択して【はい/エンター】キーで確定すると、画面に広告名と「-コウコク ノミ-」と表示されます。

Ad:Seasons Greetings
-コウコク ノミ-



- 5 広告だけの印字を終了して元に戻るには【クリア/戻る】キーを押します。「インエイノ インジニ モドリマスカ?(ハイ/イイエ)」で【はい/エンター】キーを押すとメイン画面に戻ります。



- 広告の印字開始位置は印影と同じため、後から印影を印字することはできません。
- 印影の印字に戻した時、選択している広告も印影と一緒に印字されます。印影のみ印字するには、広告を印字しない設定にしてください。

5

第5章

残額補充とデータセンターへの接続

ここでは、残額の補充をはじめとした、データセンターへの接続に関して説明しています。

マシンの金額情報	5-2
画面上で残額を確認する	5-2
メーターレポートを印刷する	5-2
マシンをアナログ電話回線に接続する	5-3
残額を補充する	5-4
データセンターに接続する	5-5
ダウンロード機能	5-5
マシンの点検	5-6
郵便料金表の更新	5-7

マシンの金額情報

マシンの金額情報は内部メモリに保存されています。残額を補充するには、マシンにアナログ電話回線を接続して残額補充メニューを選択すると、弊社データセンターに接続して自動的に残額が補充されます。

画面上で残額を確認する

- 1 【使用累計/残額】キーを押します。残額が画面に表示されます。
- 2 【クリア/戻る】キーを押すとメイン画面に戻ります。

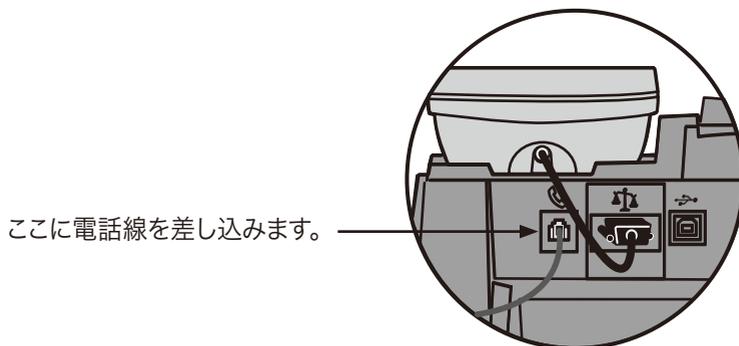
メーターレポートを印刷する

メーターレポートには使用累計額と残額が印刷されます。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「レポートヲ センタクシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「メーターレポートヲ インサツシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 画面の指示に従い、プリントラベルまたは封筒をメールデッキの奥まで挿入します。
- 5 レポートが印刷されると「ホカノレポートヲ センタクシマスカ?(ハイ/イエ)」と表示されます。【いいえ】キーを押すとメイン画面に戻ります。

マシンをアナログ電話回線に接続する

残額補充などでデータセンターに接続する場合は、マシンをアナログ電話回線に接続してください。付属の電話線をマシンの背面にあるコネクタに差し込みます（図参照）。



残額を補充する

郵便料金の残額は、電話回線を使って簡単にマシンに補充できます。

- 1 マシンをアナログ電話回線に接続します(前節参照)。
- 2 【使用累計/残額】キーを押します。残額が画面に表示されます。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ザンガクワ ホジュウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 承認使用金額(リセット金額)が表示されるので【はい/エンター】キーを押します。
- 5 「リセットシマス:¥***** Ok?」と確認メッセージが表示されるので【はい/エンター】キーを押します。
- 6 データセンターに接続します。残額補充プロセスの進行状態が画面に表示され、処理が完了すると残額補充が完了したことを示すメッセージが表示されます。
- 7 【はい/エンター】キーを押します。画面の指示に従ってプリントラベルまたは封筒をメールデッキの奥まで挿入するとリセットレポートが印刷され、終了したらメイン画面に戻ります。

データセンターに接続する

データセンターに接続して、広告など購入した拡張機能をダウンロードできます。

- 1 アナログ電話回線に接続します。
- 2 【メニュー】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ピツニーボウズニ セツゾク シマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 データセンターに接続した後、ダウンロードする機能がある場合には、その内容が表示されます。ない場合には「コウシンスル コウモクハ アリマセン ツツケマスカ?(ハイ/イイエ)」と表示されるので【いいえ】キーを押します。
- 5 画面の指示に従ってダウンロードを開始します。ダウンロードの進行状態は画面に表示されます。
- 6 ダウンロードが完了したら【はい/エンター】キーを押してメイン画面に戻ります。

ダウンロード機能

データセンターに接続して残額補充などを行った後、続けて次の処理を実行する場合があります。

- ソフトウェアアップデート
- ご購入いただいた広告やオプション機能などのダウンロード
- ご購入いただいた新しい郵便料金表のダウンロード

マシンの点検

残額補充やバランス確認などで前回のデータセンターへの接続から166日が経過すると、画面に「テンケンガ ヒツヨウデス イマ セツゾクシマスカ?」と表示されます。これはデータセンターによる点検で、お客さまのご利用状況を確認するためのものです(郵便局による6ヶ月点検とは異なります)。

- 1 「テンケンガ ヒツヨウデス イマ セツゾクシマスカ?」と表示されたら、マシンを電話回線に接続して【はい/エンター】キーを押してください。自動的に点検を開始します。
- 2 1. のメッセージ表示で【いいえ】キーを押すと、あとで点検することもできます。あとで点検する時は【使用累計/残額】キーを押して「PBバランスカクニン カクニンシマスカ?」もしくは【メニュー】キーを押して「ピツニーボウズニ セツゾクシマスカ?」を選択すると、自動的に点検を開始します。完了すると「テンケンガ シュウリョウシマシタ」と表示され、次の点検が必要な日付も表示されます。
- 3 上記のメッセージで点検をしなかった場合、さらに14日経過すると「テンケンガ ヒツヨウデス、セツゾクシテ ハイ/エンターヲ オス」と表示されます。このメッセージが表示されたら、点検が終了するまでマシンを使用できません。マシンを電話回線に接続して【はい/エンター】キーを押して点検をしてください。

郵便料金表の更新

日本郵政公社は郵便料金やサービス内容を変更することがあります。改定があった場合は、IntelliLink™を利用して新しい郵便料金表やサービス内容を簡単にダウンロードできます。

郵便料金の改定等で郵便料金表の変更が必要になる場合には、弊社または販売代理店からご案内を差しあげます。内容に応じて新しい郵便料金表のソフトウェアをご購入ください。

6

第6章 マシンの設定

ここでは、マシンのカスタマイズ方法やセキュリティ機能について説明しています。

マシンの時刻を変更する	6-2
画面のコントラストを設定する	6-3
プリセット機能を使用する	6-4
プリセットを設定する	6-5
プリセット機能のオン/オフ	6-6
プリセットを参照する	6-7
プリセットを呼び出す	6-7
小計金額/通数を表示、印刷、クリアする	6-8
小計金額/通数を表示する	6-8
小計金額/通数を印刷する	6-9
小計金額/通数をクリアする	6-10
ロック機能を使う	6-11
ロックコードを設定する	6-11
スリープモードの起動時間を設定する	6-13
手動でスリープモードにする	6-14
電子スケールを設定する	6-14
電子スケールをゼロにリセットする	6-14
重量表示延長モードのオン/オフ	6-15
高額料金警告額を設定する	6-16
低残額警告額を設定する	6-17
外線発信用番号を入力する	6-18
ダイヤル方式を選択する	6-19
画面に表示される言語を変更する	6-20

マシンの時刻を変更する

マシンの内部時計を任意の時刻に変更できます。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ヒツケ/ジコクヲ ヘンコウシ マスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ジコクヲ ヘンコウシ マスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 【上へ/下へ】キーで時間、分を変更します。「ジコクヲ セツテイ」と確認メッセージが表示されてメイン画面に戻ります。



- 時刻は表示された時刻より8時間進めることができますが、0時を過ぎて日付が変わると元の日付に戻せません。
 - 変更した時刻は、電源をオフにしたりスリープモードにしても元には戻りません。再度変更の手順に従って戻してください。
-

画面のコントラストを設定する

画面のコントラストを調整します。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーで画面をスクロールし「セットアップヲ ヘンコウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ディスプレイノ コントラストヲ チョウセイシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 【上へ/下へ】キーか数字キーでコントラストを調整し、【はい/エンター】キーを押します。
- 5 「ツツケマスカ?(ハイ/イイエ)」と表示されたら【いいえ】キー、または【クリア/戻る】キーを押すとメイン画面に戻ります。

プリセット機能を使用する

プリセット機能を使って、頻繁に使用する郵便料金、種別、広告、部門などを1つにまとめてマシンに設定しておく、スリープモードを解除した時や簡単なキー操作でその設定を簡単に呼び出すことができます(1種類のみ)。



重要

- 保存したプリセットは、次の場合に表示されます。
 - ・マシンに電源を入れたとき
 - ・スリープモードから復帰したとき
 - ・メニューから「プリセット二 モドシマスカ」を選択したとき
- プリセットの設定は、高額料金警告額として設定した金額を超える郵便料金も設定可能ですのでご注意ください。高額料金警告は、高額郵便料金を誤印字することを防ぐ機能ですが、プリセットに設定するとこの警告が表示されません(詳細については、この章の「高額料金警告額を設定する」を参照してください)。
- 郵便料金体系が変更された場合は、プリセットに設定した郵便料金が新しい郵便料金体系と一致していることを確認してください。

プリセットを設定する (内容を変更する時は、この手順で再度設定します)

- 1 プリセットとして設定する内容 (郵便料金や種別、部門、広告) を画面に表示させます。
- 2 【メニュー】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「セットアップヲ ヘンコウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「プリセットメニュー ショウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。プリセット機能がオフになっているときは「プリセットキノウヲ ツカイマスカ?」と表示されるので【はい/エンター】キーを押します。
- 5 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「アタラシイ プリセットヲ セツテイ?」で【はい/エンター】キーを押します。プリセット内容は、設定を保存する前に確認できます。

プリセットを参照する：【はい/エンター】キーを押します。【上へ/下へ】キーで画面をスクロールして郵便料金、種別、部門などの設定を確認した後【はい/エンター】キーを押します。

プリセットを参照しない：【いいえ】キーを押すと次に進みます。

- 6 「カクニン: アタラシイ プリセットヲ セツテイシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。「アタラシイ プリセットヲ セツテイシマシタ」続けて「プリセットヲ サンショウシマスカ?(ハイ/イイエ)」と表示されます。

- 7** **プリセットを参照する**：【はい/エンター】キーを押します。参照した後【クリア/戻る】キーを押すとメイン画面に戻ります。

プリセットを参照しない：【いいえ】キーを2回押すとメイン画面に戻ります。

プリセット機能のオン/オフ

- 1** 【メニュー】キーを押します。
- 2** 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「セットアップヲ ヘンコウシ マスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3** 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「プリセットメニュー ショウ シマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。

プリセット機能をオンにする：「プリセットキノウヲ ツカイマスカ?」で【はい/エンター】キーを押すと「プリセット オン」と表示されます。プリセットは必要に応じて参照できますが、確認の必要がなければ【クリア/戻る】キーを2回押してメイン画面に戻ります。

プリセット機能をオフにする：【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「プリセットメニュー ショウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「プリセット オフ?」で【はい/エンター】キーを押すと「プリセット オフ」と表示されます。「ツツケマスカ? (ハイ/イイエ)で【いいえ】キーを押すとメイン画面に戻ります。

プリセットを参照する

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「セットアップヲ へんこうシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「プリセットメニュー ショウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「プリセットヲ サンショウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 5 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし種別、郵便料金、部門などのプリセット内容を確認します。
- 6 確認したら、【クリア/戻る】キーを3回押して、メイン画面に戻ります。

プリセットを呼び出す

プリセットは、ボタンを押すだけで簡単に呼び出せます。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「プリセットニ モドシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 プリセットに設定した画面が表示されます。

小計金額/通数を表示、印刷、クリアする

このマシンは使用開始から使用金額と通数を積算しますが、それとは別に小計としての使用累計金額と通数を表示、印刷できます。小計をクリアするとその時点から新たに金額と通数を積算します。

月または年ごとに集計する場合などに利用できます。

小計金額/通数を表示する

- 1 【使用累計/残額】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし、小計を画面に表示させます。
上の行に小計通数、下の行に小計金額が表示されます。
- 3 【クリア/戻る】キーを押してメイン画面に戻ります。

小計金額/通数を印刷する

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「レポートヲ センタクシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「メーターレポートヲ インサツシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 封筒またはプリントラベルをメールデッキの奥まで挿入します。郵便料金の使用累計額と処理通数、小計通数/金額などが印刷されます。
- 5 印刷が終了すると「ホカノ レポートヲ センタクシマスカ?」と表示されるので、【いいえ】キーを押してメイン画面に戻ります。

小計金額/通数をクリアする

- 1 【使用累計/残額】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ショウケイノ キンガクト ツウスウヲ クリアシマスカ?(ハイ/イイエ)」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 「カクニン ショウケイキンガク/ツウスウヲ クリアシマスカ?」と表示されるので、もう一度【はい/エンター】キーを押します。小計がゼロにリセットされ、その画面が表示されます。
- 4 【クリア/戻る】キーを押してメイン画面に戻ります。



重要 小計をクリアするとデータを復元することはできませんので、必ず確認してからクリアしてください。

ロック機能を使う

ロックコードの設定によりマシンの不正使用を防ぎます。ロック機能はマシンの電源を入れた時、スリープモードを解除した時に起動し「アンロックコードヲ ニュウリョク: 」と表示します。ここでロックコード(パスワード)を入力することでマシンの使用が可能になります。

ロックコードを設定する (変更する時は、同様の手順で再度設定します)

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「セットアップヲ ヘンコウシ マスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーで画面をスクロールし「ロックコードヲ セットアップ シ マスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 「ロックコードヲ セッテイシマスカ?(ハイ/イイエ)」で【はい/エンター】キーを押します。
- 5 4桁のロックコードを入力して【はい/エンター】キーを押します。ロックコードは確認のため2回入力します(ロック機能を無効にするコードは「0000」です。ロック機能を使う場合は「0000」以外のコードを設定してください)。
- 6 スリープモード解除時にロックをかける/かけないの設定をします。「スリープ モードカイジョノトキ メーターロックノオン/オフ キリカエ」で【はい/エンター】キーを押すと、設定を確認するメッセージが表示されます。

7 「ツツケマスク?(ハイ/イエ)」で【いいえ】キーを押すとメイン画面に戻ります。



「スリープモード ロック:オフ」に設定しても、下記の場合にはロックコードの入力が必要になります。

1 ロック機能オンの状態で手動でスリープモードにする時。「システムヲ ロックシテ スリープモードニ シマスク?」と表示され、【はい/エンター】キーを押さないとスリープモードになりません。ここでスリープモードにした時には、復帰時にロックコードの入力が必要になります。

2 電源プラグを抜いた後で再度電源を入れて立ち上げた時。

スリープモードの起動時間を設定する

電力消費を抑えるため、使用しない状態で一定時間が過ぎるとマシンはスリープモード(省電力モード)に入ります。スリープモードに入ると画面右下に時刻だけが表示され、郵便物は処理できなくなります。解除するには、操作パネル上のいずれかのボタンを押してください。

このスリープモードに入る時間を1分から20分までの間に設定できます。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「セットアップヲ へんこうシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「スリープモードノ セッテイヲ へんこうシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 数字キーで設定時間を分単位で入力して【はい/エンター】キーを押します。
- 5 設定内容を確認するメッセージに続いて「ツヅケマスカ?(ハイ/イイエ)」と表示されます。
- 6 【いいえ】キーか【クリア/戻る】キーを押して、メイン画面に戻ります。

手動でスリープモードにする

マシンは設定時間に関係なく、随時スリープモードにすることができます。

- 1 【ロック】キーを押します。
- 2 すぐにスリープモードにするには、「スリープモードニ シマスカ?」と確認メッセージが表示されたら【はい/エンター】キーを押します。
- 3 スリープモードを解除するには、操作パネル上のいずれかのボタンを押します。ロック機能をオンに設定した場合には「アンロックコードヲ ニュウリョク」と表示されるのでロックコードを入力し【はい/エンター】キーを押します。

6

電子スケールを設定する

電子スケールの使用に際しては、下記の設定ができます。

電子スケールをゼロにリセットする

マシンの設置場所により、電子スケールが反応して重さを表示することがあります。この表示をゼロにリセットして、郵便料金を正確に算出します。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「スケールノ セッテイヲ ゼロニシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。重量が0gにリセットされます。

重量表示延長モードのオン/オフ

重量表示延長モードをオンにすると、郵便物を電子スケールから下ろした後でも10秒間その重量が画面に表示され、その間に種別を選択すると郵便料金を算出できます。このモードは、画面が郵便物で隠れてしまう時などに使用します。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「セットアップヲ へんこうシ マスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ジュウリョウヒョウジ エン チョウヲ キリカエマスカ?(ハイ/イイエ)」で【はい/エンター】キーを押しま す。
- 4 画面の指示に従って、重量表示延長モードをオンまたはオフに設定します。「セツテイ オン(オフ) ニシテ ヒョウジヲ エンチョウスル」で【はい/エ ンター】キーを押すたびに設定が切り替わります。
- 5 「ジュウリョウヒョウジ エンチョウヲ スル(シナイ)」と表示された後、メイ ン画面に戻ります。

高額料金警告額を設定する

郵便料金を手入力する際、設定した金額を超えると警告を表示するように設定できます。この機能を使用すると、誤って高額料金を印字するのを防ぐことができます(初期設定では¥1,000に設定されています)。ただし、この警告機能は種別を選択して算出した料金では表示されません。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「セットアップヲ ヘンコウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「コウガクリョウキン ケイコクガクヲ ヘンコウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 金額を入力して【はい/エンター】キーを押すと確認メッセージに続いて「ツツケマスカ?(ハイ/イイエ)」と表示されます。
- 5 【いいえ】キーあるいは【クリア/戻る】キーでメイン画面に戻ります。

低残額警告額を設定する

マシンの残額が設定した金額になった時に警告を表示するように設定できます。低残額警告機能は残額不足を防止するためのもので、初期設定では¥10,000に設定されています。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「セットアップヲ へんこうシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「テイザンガク ケイこくガクヲ へんこうシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 金額を入力して【はい/エンター】キーを押します。確認メッセージに続いて「ツツケマスカ?(ハイ/イイエ)」と表示されます。
- 5 【いいえ】キーあるいは【クリア/戻る】キーでメイン画面に戻ります。

外線発信用番号を入力する

マシンを弊社データセンターに接続する際の電話番号に外線発信用番号を設定できます。外線をかける際、発信先電話番号の前に番号が必要な場合にはこの設定を行ってください。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「セットアップヲ ヘンコウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「セツゾクノ セツテイヲ ヘンコウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ガイセンハッシンヨウ バンゴウヲ ヘンコウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 5 外線発信用番号を入力して【はい/エンター】キーを押すと、確認メッセージに続いて「ツツケマスカ?(ハイ/イイエ)」と表示されます。
- 6 【いいえ】キーあるいは【クリア/戻る】キーでメイン画面に戻ります。

ダイヤル方式(トーンまたはパルス)を選択する

マシンを弊社データセンターに接続する際、ダイヤル方式にトーン(プッシュ回線)またはパルス(ダイヤル回線)を選択できます。初期設定ではトーンに設定されています。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「セットアップヲ ヘンコウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「セツゾクノ セツテイヲ ヘンコウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「トーン/パルス ヲ ヘンコウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 5 現在選択されているダイヤル方式が表示されるので、変更する場合は【上へ/下へ】キーでトーンまたはパルスを選択して【はい/エンター】キーを押します。確認メッセージに続いて「ツヅケマスカ?(ハイ/イイエ)」と表示されます。
- 6 【いいえ】キーあるいは【クリア/戻る】キーでメイン画面に戻ります。



接続の設定に関する注意

「セツゾクノ セツテイヲ ヘンコウシマスカ?」に続くメニューには、誤って変更または消去するとデータセンターに接続できなくなる項目があります。上記に関するメニュー以外は、弊社からの指示がない限り変更しないでください。

画面に表示される言語を変更する

画面に表示されるメニューや種別を英語表示に変更できます。表示は下記の手順で交互に日本語(カタカナ)/英語に切り替えることができます。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ヘンコウ:English?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 「Change to Japanese?」と表示が英語に切り替わります。【クリア/戻る】キーを押すとメイン画面に戻ります。

7

第7章

インクのメンテナンス(プリンター機能)

ここでは、インクカートリッジやプリントヘッドのメンテナンスなどプリンター機能に関して説明しています。

インク残量の警告	7-2
インクカートリッジの交換	7-3
テストパターンの印刷	7-6
プリンタノズルのクリーニング	7-7
プリントヘッドの交換	7-8
インクトレイの交換	7-10

インク残量の警告

インクの使用量はマシンを使用する頻度、広告の有無、設置場所の環境条件などによって変わります。

インクが少なくなった時、完全になくなった時には警告を表示します。

「インクガ スクナクナッテイマス」と表示され、オレンジ色のランプが点灯した場合は、インクカートリッジを早めに交換してください。予備のカートリッジがお手元がない場合はご注文ください。注文方法については、「第11章 消耗品とオプション」を参照してください。



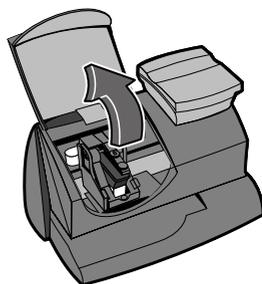
重要 「インクガ スクナクナッテイマス」と表示されたらインクカートリッジの在庫をご確認ください。予備のインクカートリッジは常にご用意ください。

「インクガ アリマセン コウカンシテクダサイ」と表示され、オレンジ色のランプが点滅した場合は、インクカートリッジを直ちに交換してください。インクがなくなると、印影を印字できなくなります。

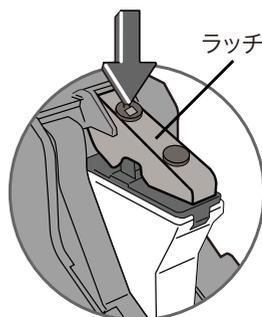
インクカートリッジの交換

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「プリンターキノウヲ ツカイ マスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「インクカートリッジヲ コウ カンシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。

- 4 「インクヲ セットシテ ハイ/エンターヲ オ シテクダサイ」と表示されたらトップカバーを開けます。

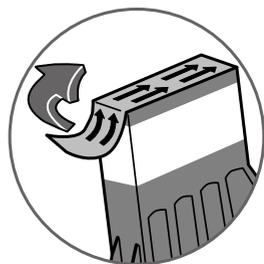


- 5 インクカートリッジ上部には緑色のラッチ(カートリッジ押さえ)がついています。鍵のアイコンがついているくぼみ(右図矢印)を押すと「カチッ」と音がしてラッチが上がります。

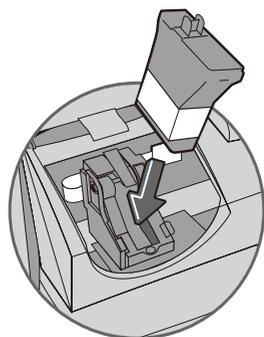


- 6 古いカートリッジを手前に傾けてから取り出します。取り出したカートリッジは自治体の指示に従って処分してください。

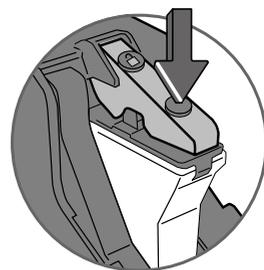
- 7** 新しいインクカートリッジをパッケージから取り出して、保護テープをはがします。



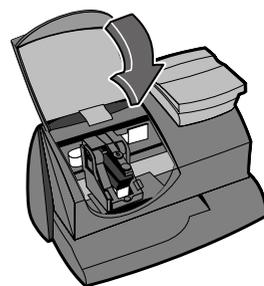
- 8** 新しいインクカートリッジをプリントヘッドに斜めに差し込み、次に垂直にしてセットします。このとき、ラベルが貼られていない面を向こう側（マシン側）にセットしてください。



- 9** ラッチのアイコンのない方のくぼみ(右図矢印)を「カチッ」という音がするまで押します。



- 10** トップカバーを閉じ、【はい/エンター】キーを押します。

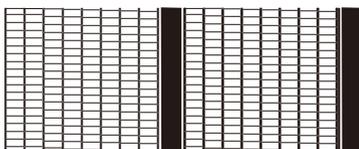


- 11 「ジュウヨウ：インクヲ トリツケマシタカ?」と表示され、【はい/エンター】キーを押すとプリントヘッドの初期化が始まります。初期化が完了するまで2～3分かかります。
- 12 初期化が完了すると「フウトウ/ラベルヲ ソウニュウ シテクダサイ」と表示されます。封筒またはプリントラベルをメールデッキ奥まで挿入し、テストパターンを印刷して印刷の品質を確認します。
- 13 「セイジョウニ インジサレテ イマスカ?」と表示されます。印刷が鮮明であれば【はい/エンター】キーを押してメイン画面に戻ります。不鮮明な場合は次節「テストパターンの印刷」の手順5に進みます。

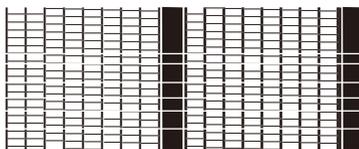
テストパターンの印刷

印刷テストを実行して、印刷の品質を確認します。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「プリンターキノウヲ ツカイ マスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「テストパターンヲ インサツ シマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 封筒またはプリントラベルをメールデッキ奥まで挿入します。印刷後「フウトウヲ トツテクダサイ」と表示されたら取り出します。
- 5 「セイジョウニ インジサレテ イマスカ?」と表示されます。印刷が鮮明であれば【はい/エンター】キーを押してメイン画面に戻ります。不鮮明な場合は【いいえ】キーを押すとプリンタノズルをクリーニングしたあと手順4. に戻ります。



正しく印刷された例



正しく印刷されなかった例
(パターンの線が欠けています)

プリンタノズルのクリーニング

プリンタノズルのクリーニングにより、インクが目詰まりやヘッドの乾燥による問題を解消します。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「プリンターキノウヲ ツカイ マスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「プリンターノズルヲ クリーニングシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 「シヨリチュウデス オマチクダサイ」と表示され、クリーニングを開始します。
- 5 クリーニングが終了すると「フウトウ/ラベルヲ ソウニュウ シテクダサイ」と表示されるので、封筒またはプリントラベルをメールデッキ奥まで挿入します。
- 6 印刷後「セイジョウニ インジサレテ イマスカ?」と表示されます。印刷が鮮明であれば【はい/エンター】キーを押してメイン画面に戻ります。不鮮明な場合は【いいえ】キーを押すとプリンタノズルをクリーニングしたあと手順5. に戻ります。

プリントヘッドの交換



重要 通常はカートリッジのみ交換してください。

カートリッジを交換しても印刷が不鮮明な場合には、弊社コールセンターまたは販売店にお問い合わせください。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「プリンターキノウヲ ツカイ マスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「アタラシイ プリントヘッドヲ トリツケマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 「プリントヘッドヲ セットシテ ハイ/エンターヲ オシテクダサイ」と表示されたらトップカバーを開けます。
- 5 プリントヘッドについている説明書に従ってプリントヘッドを交換します。
- 6 「ジュウヨウ：ヘッド/インクヲ トリツケマシタカ?」で再度【はい/エンター】キーを押すとプリントヘッドの初期化が始まります。初期化が完了するまで2～3分かかります。
- 7 「フウトウ/ラベルヲ ソウニユウ シテクダサイ」と表示されたら封筒またはプリントラベルをメールデッキ奥まで挿入してテストパターンを印刷し、印刷の品質を確認します。

- 8 「セジョウニ インジサレテ イマスカ?」と表示されます。印刷が鮮明であれば【はい/エンター】キーを押してメイン画面に戻ります。不鮮明な場合は【いいえ】キーを押すとプリンタノズルをクリーニングしたあと手順7. に戻ります。

インクトレイの交換



重要 インクトレイを交換する際は、必ず新しいインクトレイをお手元にご用意の上、手順通りに行ってください。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「プリンターキノウヲ ツカイ マスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「インクトレイヲ コウカンシ マスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 インクトレイについている説明書の指示に従って古いインクトレイを取り出し、新しいインクトレイを装着して【はい/エンター】キーを押します。
- 5 「インクトレイ コウカンヨウコードヲ ニュウリョク」と表示されたら「**57**」(【シフト】キー → 【シフト】キー → 【5】 → 【7])と押して【はい/エンター】キーを押します。
- 6 「アタラシイ インクトレイヲ トリツケマスカ?(ハイ/イエ)」と表示されたら【はい/エンター】キーを押します。
- 7 「インクトレイヲ コウカンシマシタ」と確認メッセージが表示され、メイン画面に戻ります。

8

第8章 レポート

ここでは、さまざまなレポートの機能について説明しています。

レポート	8-2
メーターレポート	8-2
リセット履歴レポート	8-3
部門集計レポート	8-4
ソフトウェアバージョンレポート	8-5
ソフトウェアのバージョン情報の参照	8-6

レポート

郵便料金の使用累計額、残額補充の履歴、部門集計などの重要なデータを表示して印刷できます。レポートは封筒またはプリントラベルなどに印刷します。

メーターレポート

メーターレポートにはマシンの使用累計額、残額、通数累計、小計などが印刷されます。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「レポートヲ センタクシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「メーターレポートヲ インサツシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 「フウトウ/ラベルヲ ソウニュウ シテクダサイ」で封筒またはプリントラベルをメールデッキ奥まで挿入します。
- 5 レポートが印刷されると、「ホカノレポートヲ センタクシマスカ?」と表示されます。【いいえ】キーを押すとメイン画面に、【はい/エンター】キーを押すとレポートメニューに戻ります。

リセット履歴レポート

リセット履歴レポートには、最近5件の残額補充の履歴が印刷されます。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「レポートヲ センタクシマスカ？」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「リセットノ リレキヲ インサツシマスカ？」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 「フウトウ/ラベルヲ ソウニユウ シテクダサイ」で封筒またはプリントラベルをメールデッキ奥まで挿入します。
- 5 レポートが印刷されると、「ホカノレポートヲ センタクシマスカ？」と表示されます。【いいえ】キーを押すとメイン画面に、【はい/エンター】キーを押すとレポートメニューに戻ります。

部門集計レポート

部門集計機能を使用すると、部門ごとの集計を印刷できます。このレポートは集計機能をオンにしている時のみ印字できます。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「レポートヲ センタクシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ブモンレポートヲ インサツシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 全部門または各部門の集計レポートを選択して【はい/エンター】キーを押します。
「ゼンブモンノ シュウケイレポートヲ インサツシマスカ?」
設定している全ての部門の部門番号、使用通数/金額を印刷します。部門数によっては複数枚印刷されます。
「カクブモンノ シュウケイレポートヲ インサツシマスカ?」
設定している部門が1つずつ表示されます。【上へ/下へ】キーで画面をスクロールし、印刷したい部門で【はい/エンター】キーを押します。選択した部門の部門名、部門番号、使用通数/金額を印刷します。
- 5 レポートが印刷された後「ホカノブモンノ レポートヲ インサツシマスカ?」と表示されます。印刷する場合は【はい/エンター】キーを押してから部門を選択します。印刷しない場合は【クリア/戻る】キーを押すとメイン画面に戻ります。

ソフトウェアバージョンレポート

マシンに搭載しているソフトウェアのバージョン情報の一覧を印刷します。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「レポートラ センタクシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ソフトウェアノ バージョンラ インサツシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 「フウトウ/ラベルラ ソウニユウ シテクダサイ」で封筒またはプリントラベルをメールデッキ奥まで挿入します。
- 5 レポートが印刷された後、「ホカノレポートラ センタクシマスカ?」と表示されます。【いいえ】キーを押すとメイン画面に、【はい/エンター】キーを押すとレポートメニューに戻ります。

ソフトウェアのバージョン情報の参照

ソフトウェアバージョン情報の一覧を画面に表示します。このレポートは印刷できません。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「レポートヲ センタクシマスカ？」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ソフトウェアノ バージョンヲ サンショウシマスカ？」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 画面をスクロールしてバージョン情報を参照します。
- 5 【クリア/戻る】キーを押すと「ツヅケマスカ？」と表示されます。【はい/エンター】キーを押すと「レポートヲ センタクシマスカ？」と表示されてレポートメニューに戻り、【いいえ】キーを押すとメイン画面に戻ります。

9

第9章 部門集計機能

ここでは、部門集計の機能と操作方法について説明しています。

部門集計機能	9-2
部門集計機能のオン/オフ	9-2
部門を作成する	9-3
部門を選択/変更する	9-4
部門内容を編集する	9-5
部門集計内容を表示する	9-6
部門集計レポートを印刷する	9-7
部門の集計内容をクリアする	9-8
部門を削除する	9-9

部門集計機能

部門集計機能を利用すると、社員や部門ごとに郵便経費を集計することができます(10部門まで)。この機能により下記の情報を管理できます。

- 部門名(英数字で最大14文字)
- 部門番号
- 使用通数：前回クリアしてから各部門で処理した郵便物の通数です。
- 使用金額：前回クリアしてから各部門で処理した郵便物の金額です。
- 部門のパスワード

部門集計機能のオン/オフ

部門集計機能をオンにした場合は、部門を選択しないと印影の印字ができません。

【メニュー】キーを押します。

部門集計機能を使う：「シュウケイキノウヲ オン ニシマスカ？」で【はい/エンター】キーを押します。部門集計機能を初めて使用する場合は、続いて部門を作成してください。

部門集計機能を使わない：画面をスクロールして「ブモンシュウケイキノウヲ ツカイマスカ？」で【はい/エンター】キーを押します。【上へ/下へ】キーを押して「シュウケイキノウヲ オフ ニシマスカ？」で【はい/エンター】キーを押します。「ブモンシュウケイキノウヲ オフ ニシマシタ」と確認メッセージが表示されメイン画面に戻ります。



部門集計機能をオフにした場合、部門を設定していても金額や通数が部門ごとに集計されず、部門集計レポートにも反映されません。

部門を作成する

部門集計機能を使用して郵便料金を集計するには、最初に部門を作成してください。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ブモンシュウケイキノウヲ ツカイマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します(集計機能がオフになっている場合には「シュウケイキノウヲ オン ニシマスカ?」と表示されるので【はい/エンター】キーを押します)。
- 3 【上へ/下へ】キーで画面をスクロールし「ブモンヲ サクセイシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 「ブモンメイ ニュウリョク」と表示されたら部門名を入力します。部門名は英数字で最大14文字まで入力できます。英字を入力するには、入力したい英字が表示されるまで該当する数字キーを押します。キーを押して1秒経過するとカーソルは自動的に右に1文字ずれます。英文字の最初は大文字で表示され、それ以降は【シフト】キーを押すごとに、大文字と小文字が切り替わります。
- 5 必要に応じて、4桁のパスワードを部門に設定します。
- 6 「ブモンヲ サクセイシマシタ、ホカニモ サクセイシマシカ?」と表示されます。続ける場合は【はい/エンター】キーを押すと手順4.に戻ります。終了するには【いいえ】キーを押し、「ツヅケマスカ?(ハイ/イイエ)」で再度【いいえ】キーを押すとメイン画面に戻ります。

部門を選択/変更する

この手順は、部門がすでに登録されていて部門集計機能がオンのときに行います。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 「ブモンヲ ヘンコウシマスカ？」で【はい/エンター】キーを押します。登録されている部門が表示されます。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし、使用したい部門で【はい/エンター】キーを押します（パスワードを設定している場合は、次にパスワードを入力して【はい/エンター】キーを押します）。確認メッセージが表示されてメイン画面に戻ります。

部門内容を編集する

部門名やパスワードを編集します。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ブモンシュウケイキノウヲ ツカイマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ブモンナイヨウヲ ヘンシュウシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし、編集する部門を選択して【はい/エンター】キーを押します(パスワードを設定した場合は、次にパスワードを入力して【はい/エンター】キーを押します)。部門の設定に応じて、次の操作ができます。

「ブモンメイヲ ヘンコウシマスカ?」：部門名を変更します。

「ブモンパスワードヲ セツテイシマスカ?」(パスワードが未設定の場合)：4桁のパスワードを設定します。

「ブモンパスワードヲ ヘンコウシマスカ?」(パスワードが設定してある場合)：部門パスワードを変更します。

「ブモンパスワードヲ サクジョシマスカ?」(パスワードが設定してある場合)：部門パスワードを削除します。

- 5 終了後は画面の指示に従って、他の部門を編集するかメイン画面に戻ります。

部門集計内容を表示する

各部門の集計内容を表示します。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ブモンシュウケイキノウヲツカイマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「カクブモンノ ツウスウトキンガクヲ ヒョウジシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールすると、各部門の使用通数/金額がひとつずつ表示されます。
- 5 【はい/エンター】キーを押すと、メイン画面に戻ります。

部門集計レポートを印刷する

部門ごとの集計レポートを印刷します。部門内容をクリアしたり、部門を削除する前にはこのレポートを印刷することをおすすめします。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ブモンシュウケイキノウヲ ツカイマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「シュウケイレポートヲ インサツシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 全部門または各部門の集計レポートを選択して印刷します。

「ゼンブモンノ シュウケイレポートヲ インサツシマスカ?」：設定している全ての部門の部門番号、使用通数、使用金額を印刷します。部門の数によっては複数にわたって印刷されます。

「カクブモンノ シュウケイレポートヲ インサツシマスカ?」：【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし、印刷したい部門が表示されたら【はい/エンター】キーを押します。選択した部門の部門名、部門番号、使用通数と使用金額を印字します。

- 5 レポートが印刷された後、レポートメニューに戻ります。【クリア/戻る】キーを押すとメイン画面に戻ります。

部門の集計内容をクリアする

月末や会計年度末など、必要に応じて郵便料金の使用累計額と累計通数をクリアします。



重要 集計内容をクリアしてよいか確認してください。いちどクリアしたデータは復元できません。クリアする前には部門集計レポートを印刷することをおすすめします。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ブモンシュウケイキノウヲツカイマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「キングクト ツウスウノシュウケイヲ ゼロクリア シマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 すべての部門またはクリアする部門を選択して【はい/エンター】キーを押します。

「シュウケイヲ クリアシマスカ?」：全部門の集計内容をクリアします。

「カクブモンナイヨウヲ クリアシマスカ?」：【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし、クリアしたい部門で【はい/エンター】キーを押します。パスワードを設定した場合は、次にパスワードを入力して【はい/エンター】キーを押します。

- 5 画面の指示に従って他の部門をクリアするか【いいえ】キーを押してメイン画面に戻ります。

部門を削除する

設定した部門を削除します。



重要 部門を削除してよいか確認してください。いちど削除した部門およびそのデータは復元できません。部門を削除する前には部門集計レポートを印刷することをおすすめします。

- 1 【メニュー】キーを押します。
- 2 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ブモンシュウケイキノウヲツカイマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 3 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし「ブモンヲ サクジョシマスカ?」で【はい/エンター】キーを押します。
- 4 【上へ/下へ】キーを押して画面をスクロールし、削除する部門を選択して【はい/エンター】キーを押します(パスワードを設定した場合は、次にパスワードを入力して【はい/エンター】キーを押します)。
- 5 確認画面で選択した部門を削除することを確認し【はい/エンター】キーを押します。
- 6 画面の指示に従って、別の部門を削除するか【いいえ】キーを押してメイン画面に戻ります。

第10章

トラブルシューティング

10

ここでは、マシンを使用中に起きた障害や、エラーメッセージについて説明しています。

お問い合わせの前に 10-2

エラーメッセージ 10-2

画面に何も表示されない 10-3

印刷が不鮮明である 10-4

画面の文字が読みにくい 10-4

データセンターに接続できない 10-4

お問い合わせの前に

マシンに伴う問題を解決したり、詳細な動作について調べたりするには、まずこの章を参照してください。多くの問題はこのトラブルシューティングで解決できます。

弊社にお問い合わせいただく前に、次の情報をあらかじめ確認してください。

- モデル名：K700
- メーター番号：マシンの背面に記載されています。(PB81xxxxx)
- 問題の症状：どのようなトラブルがいつ発生しましたか？ マシンにはどのようなエラーメッセージが表示されていますか？
- どのような対策を講じましたか？ 結果はどうでしたか？

エラーメッセージ

状況に応じて警告やエラーメッセージを表示します。エラーメッセージは、トラブルが発生したこと、およびそのトラブルを解決する必要があることをお知らせします。

メッセージ	内容	対処方法
「デンワセンヲ セツゾクシテ ハイ/エンターヲ オシテクダサイ」 「オウトウガ アリマセン」 「ダイヤルトーンガ アリマセン」	電話線がきちんと接続されていないか、ダイヤル方式が違っています。データセンターには接続されていません。	モジュージャックの接続を確認してください。また、外線発信番号やトーン/パルスの設定を確認してください。
「キャリアガ ミツカリマセン」 「セツゾクガ セツダンサレマシタ」 「ログイン デキマセン」	データセンターに接続されましたが、処理が完了する前に接続が切れました。	【クリア/戻る】キーを押します。数分待ってから、接続しなおします。それでも問題が解消しない場合は、弊社コールセンターまたは販売店に連絡してください。

メッセージ	内容	対処方法
「テンケンガ ヒツヨウデス、イマ セツゾクシマスカ?」	前回の残額補充またはバランス確認から166日経過すると、このメッセージが表示されます。	14日以内に、残額補充かバランス確認を行ってください。
「テンケンガ ヒツヨウデス、セツゾクシテ ハイ/エントーヲオス」	上記の表示から14日経過しても残額補充やバランス確認を行わなかった場合に表示されます。ここで点検をしないと郵便料金が印刷できなくなります。	直ちに残額補充かバランス確認を行ってください。
「ザンガクガ フソクシテイマス」	マシンの残額が不足しています。	残額を補充してください。
「リセットキングクガ タカスギマス」	入力した金額が承認使用金額を超えています。	【クリア/戻る】キーを押し、承認使用金額を入力します。

「1103」、「2215」のように、メッセージのないエラーが発生した場合は【クリア/戻る】キーを押します。5秒たっても症状が改善されない場合は、電源プラグを抜きます。さらに15秒たってから電源プラグを再び差し込み再起動します。それでも問題が解決しない場合は、弊社コールセンターまたは販売店に連絡してください。

画面に何も表示されない

- スリープモードに入っています。いずれかのキーを押すと復帰します。
- 電源ケーブルはマシンとコンセントにきちんと挿入されていますか?ケーブルをスイッチ式コンセントに挿入していないか確認してください。
- 電源ケーブルを外し、15秒たってから再び挿入してください。

印刷が不鮮明である

- プリントノズルをクリーニングしてください。手順は『第7章 インクのメンテナンス』を参照してください。

画面の文字が読みにくい

- 液晶画面のコントラストを調整してください。手順は『第6章 マシンの設定』を参照してください

データセンターに接続できない

- 適切な電話回線がマシンに接続されていますか？マシンがアナログ電話回線に接続されていることを確認してください。
- マシンの設定は適切ですか？『第6章 マシンの設定』を参照して下記の設定を確認してください。
 - ・ 使用している電話は外線発信用番号を設定していますか？その場合にはマシンの外線発信用番号の設定を確認してください。
 - ・ ダイヤル方式を適切に設定していますか？使用している電話機のダイヤル方式（トーンまたはパルス）とマシンの設定が合っているか確認してください。

11

第11章

消耗品(サプライ)とオプション

ここでは、マシンの消耗品やオプションについて説明しています。

消耗品(サプライ) 11-2

オプション..... 11-2

消耗品(サプライ)

※品番や仕様は予告なく変更することがあります

- インクカートリッジ：赤(特殊蛍光インク) 品番:797-0
プリントラベル：4面×100枚/袋 品番:J-011N
プリントラベル(広告用)：2面×100枚/袋 品番:J-012

オプション

お客様がニーズに合わせてマシンをカスタマイズできるように、下記のオプションを用意しております。

●広告

広告を使用すると、洗練された印影を印字して販促活動などに活用できます。「書留」「配達記録」「謹賀新年」など既成のもの以外にも、ロゴマークやキャッチフレーズ、お客様へのメッセージなど、オリジナル広告も承ります。広告は最大15種類までダウンロードしてマシンに保存できます。

●電子スケール用延長コード

延長コードを使用すると、電子スケールとマシンの距離を最大1.2mまで離すことができ、作業がしやすくなります。

付録A

テキストについて

テキスト入力が必要な場合

部門集計機能を使用する場合、部門の名前を設定する際にはアルファベットと数字が使用できます。テキストの入力については下記の通りです。

テキストの入力方法

- アルファベットは、携帯電話の文字入力と同じように数字キーを使います。2～9の数字キーには、3または4種類の文字が割り当てられています。
- 英字モードと数字モードを切り換える専用キーはありません。1つの数字キーを押すたびに表示される文字が替わります。たとえば、数字キー2を押すと、「2 → A → B → C」の順に文字が表示されます。
- 【シフト】キーを押して画面右側に「↑」が表示されると大文字を入力できます。もう一度【シフト】キーを押すと小文字に切り替わります。文字の入力を間違えたときには、【クリア/戻る】キーを押すごとに一文字ずつ消えます。
- スペースは0(ゼロ)キーを2回押します。

部門名

- 部門名を入力した場合、先頭の文字は自動的に大文字に変換されます。
- 英文字を入力する際、「DE」「HI」など同一キーを連続して押す場合は、1文字入力した後、カーソル（点滅するアンダーバー）が右に移動するまで約1秒ほど待ってから次の文字を入力してください。

特殊文字

特殊文字は数値キーの「1」を押していくと表示されます。特殊文字は下記の通りです。

記号	文字名
,	コンマ
*	アスタリスク
.	ピリオド
:	コロン
\$	ドル記号
€	ユーロ記号
£	ポンド記号
—	マイナス記号(ダッシュ)
?	疑問符
/	スラッシュ
\	バックスラッシュ
(左かっこ

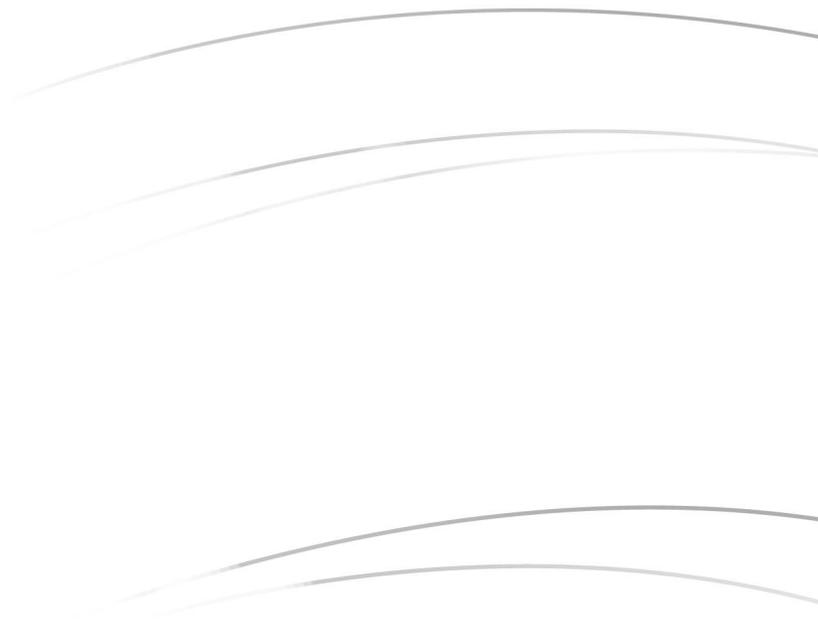
記号	文字名
)	右かっこ
!	感嘆符
@	アットマーク
+	プラス記号
#	シャープ記号
^	キャレット
=	等号
&	アンパサンド
%	パーセント記号
_	アンダーバー
“	引用符
‘	アポストロフィ

付録B

用語集

- 印影** 切手の代わりになるスタンプです。これには下記の情報が含まれています。
- 印字した日付
 - 郵便料金計器の登録番号
 - 郵便料金額
- 部門・部門名** 部門集計機能を使うときの集計をとるためのグループです。人事部・営業部などの部門ごとや使用者ごとに登録できます。各部門には数字とアルファベットを使って名前をつけます。10部門を登録でき、部門集計機能を使用した場合に使用通数と使用金額を積算します。
- 広告** 広告は印影の左横に印字されます。標準またはオーダーメイドの広告の中から印字する広告を選択できます。オーダーメイドの広告はオプションとしてご購入ください。
- 初期設定** マシン出荷時にあらかじめ登録されている値や設定です。多くの設定内容は必要に応じて変更できます。
- マシンの点検** お客さまが定期的にデータセンターと接続していることを確認するために行います。166日以上残額補充またはバランス確認を行わないと画面に「テンケンガヒツヨウデス」と表示され、それよりさらに14日経過すると「テンケンシテクダサイ」と表示され、点検が必要になります。
詳細については、「第5章 残額補充とデータセンターへの接続」を参照してください。
- IntelliLink™** IntelliLink™テクノロジーは、ネットワークを介して、モデムリセットによる残額補充、郵便料金表のダウンロード、ソフトウェアのアップデートを行うシステムです。
- ロックコード・アンロックコード** ... 4桁のコードをパスワードとして使用し、マシンの不正使用を防ぎます。

- メイン画面** 郵便料金、重さ、種別と日付が表示されている画面で、この状態で印影を印字できます。設定や選択が完了して【はい/エンター】キーを押した時やマシンを立ち上げた時には直前の郵便料金と種別が表示され、【クリア/戻る】キーで画面を戻した時には¥0と表示されます。
- 内蔵モデム** アナログ回線を接続し、弊社データセンターに接続します。
- プリセット** プリセットとは、あらかじめ郵便料金、部門、広告、種別/特殊取扱いなどを一つのジョブとして保存したものです。プリセットはボタンを押すだけで簡単に呼び出せます。
- スリープモード** マシンの省電力機能です。一定時間が過ぎると画面には時刻のみ表示されます。解除してマシンを使うためには、いずれかのキーを押します。
- プリントラベル** 郵便料金を印刷する粘着ラベルです。プリントラベルはマシンで直接印字できない厚手の郵便物や小包などに貼付します。
- 残額** 画面で確認、または印刷した時点での使用可能な金額です。
- 承認使用金額** 郵便局に登録している、1回あたりの補充可能金額です。
- アカウントNo.** マシンの固有識別番号です。
- メーターNo.** マシンのシリアル番号です。
- 使用累計(額)** マシン使用開始時から、現在までの累計金額です。
- 通数累計** マシン使用開始時から、現在までの累計通数です。
- 装置総合計** 使用累計額と残額を足した金額です。
- 小計通数** 前回小計通数をクリアしてから、現在までの累計通数です。
- 小計金額** 前回小計通数をクリアしてから、現在までの累計金額です。

The upper half of the page features three sets of wavy, horizontal lines in varying shades of gray, creating a sense of movement and depth.

ピツニーボウズジャパン株式会社

東京都品川区戸越1-7-1 戸越NIビル

TEL : 03-5750-4309

ホームページアドレス : <http://www.pbjapan.co.jp/>